

まよったんて

vol.114

主な内容

特集

丹後建国 1300 年ー丹後は日本のふるさとー

フォトピックス

中東国際交流プロジェクト in 京丹後

Xバンド・レーダー配備計画

山田府知事と中山市長が詰めへの協議ー住民の安全・安心を詳細に検証ーほか

2013
平成25年

9月号

8月26日発行

撮影場所：森林公園スイス村（弥栄町）

古代丹後
大陸との交流

古墳時代には、現在の丹波・丹後地域は総称して「タニハ」（たにわ）のクニとよばれていました。その中心は現丹後地域とされ、古事記・日本書紀にみられる記述や丹後に巨大古墳が多いことなどから、当時の大和王権に対し相対的自立性を持つ独自の王国がこの地域に存在したと考えられています。

7世紀（西暦600年代後半）以降、中央集権的な国家機構が中国の制度を模して整備（律令体制）され、地方支配制度としての「国・郡」が各地に設定されていく過程で、旧来の「タニハ」の地域が令制国として丹波国がおかれました。その後、和銅6年（713年）に、丹波国11郡から北部に位置する加佐郡・与謝郡・丹波郡（現中郡）、竹野郡、熊野郡の5郡を割いて丹後国が創られました。

丹後の国誕生前史から、大陸との交流を通して、さ

まざまな文化や文明が取り入れられました。それらは地域固有の営みと結び付き、そこから和の精神、自然との共生、万物への畏敬など独自の美しい丹後文化や今に至る丹後の民の生活スタイルを生み出してきました。

そして今、時代は21世紀に入りグローバル化社会を迎えています。かつて、大陸の窓口として文化・文明の知恵を集め、国づくり、文化づくりの表舞台であった丹後の国。これを機会に歴史と文化について語り合い、理解しあうために人々が交流する場として、また、素晴らしい自然を生かした環境先進地や健康長寿、癒しの地域として新たな成長を始めたいと考えています。

今後は「世界の丹後」を合言葉に、丹後の歴史・文化と丹後のアイデンティティを国内外に発信し、より多くの共感と賛同の輪を広げ、将来世代に継承する「新しい丹後の国」の創造を目指していきます。

丹後建国 1300 年記念事業

目的

丹後建国 1300 年の節目を迎える平成 25 年に、丹後の歴史・文化の側面から地域資源を掘り起こすとともに、丹後建国 1300 年の住民への周知や 1300 年の歴史を振り返り、地域の宝（価値）を再認識し、100 年先を見据えたまちづくりや観光振興事業を展開していき、国内外に丹後地域を情報発信していきます。

ふるさと（丹後）づくり 宝の再発見・人材育成

京都府立大学・
龍谷大学と連携！



京都市内の大学生と連携した
丹後地域PRプロジェクト

京都市内の大学生と連携して、
大学生自らのアイデアにより丹後
地域をPRするためのプロジェクト
を実施していきます。

丹後建国 1300 年
記念切手シートの作成・販売

丹後建国 1300 年記念切手シートを
3市2町の素晴らしい風景を活用して
作成して記念事業をPRおよび
周知します。現在、丹後
地区の58の郵便局で発売
中！



将来につながる 人づくり・まちづくり

ふるさと（丹後）への誘客 観光の歴史物語発信・ツアー開発

丹後建国 1300 年記念事業
「よしもと×郵便局コラボで丹後をプロモーション」



丹後王国物語（仮称）の作成

古代丹後王国を一つの大きなテーマ
として、丹後地域が繁栄した物語マンガ
や資料などで仮説も含めて作成。域
内のみならず全国に丹後の歴史を発信
していくため、完成後は全国で販売し
ていきます。



将来につながる 観光誘客による地域活性化

開催概要

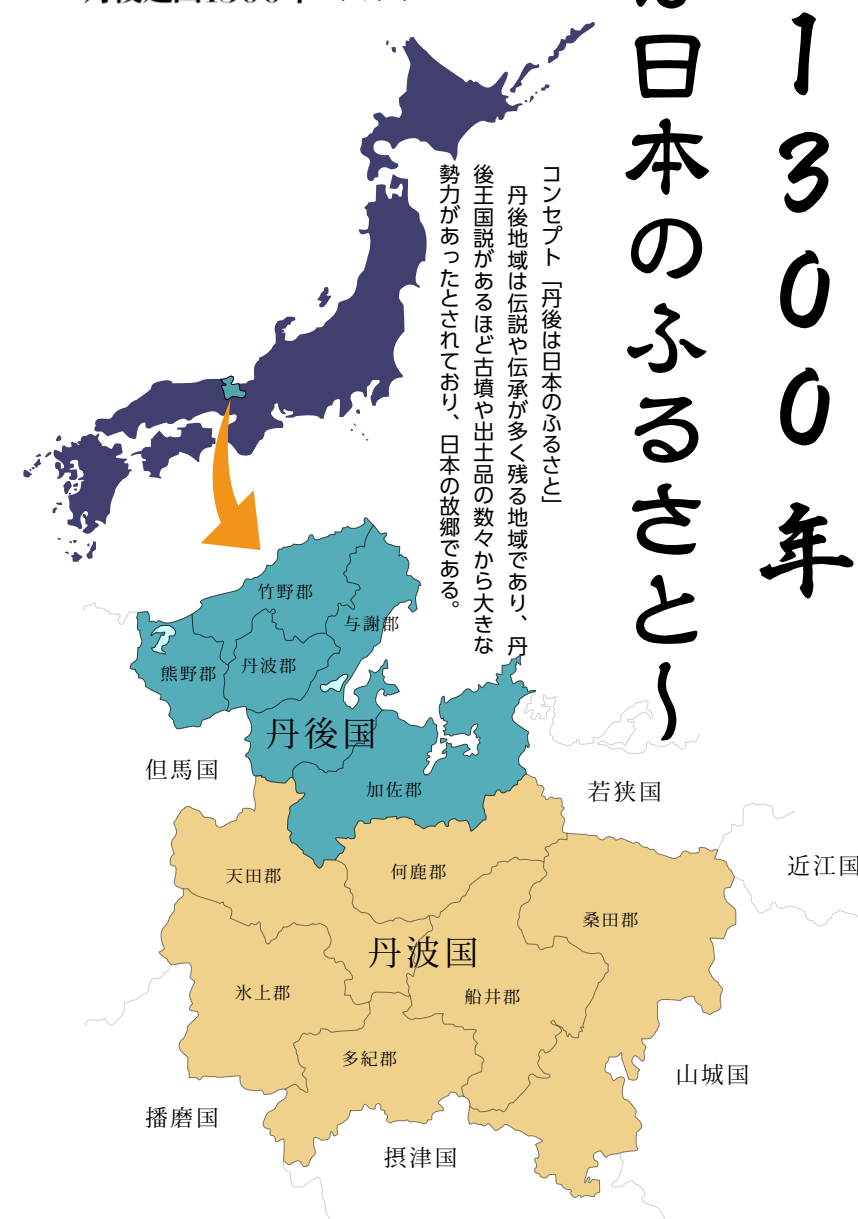
西暦 2013 年は、丹後の国誕生から 1300 年という記念すべき年です。この百年に一度の機会を迎え、過去から学び、未来へ発信する「丹後建国 1300 年記念事業」で、私たちは、歴史・文化の掘り起しから始まる地域振興を広域で推進していきます。

ロゴマーク

新しい丹後を創る風が吹いていることを、日本海に吹く風と重ね合わせ、「丹」の文字を中心に雲と波で表現しました。丹の赤い円は、悠久の昔から未来まで輝き続ける太陽をイメージし、過去と未来を融合させたものの象徴としました。



丹後は日本のふるさと
丹後建国1300年



コンセプト「丹後は日本のふるさと」
丹後地域は伝説や伝承が多く残る地域であり、丹後王国説があるほど古墳や出土品の数々から大きな勢力があったとされており、日本の故郷である。



特集

丹後建国 1300 年

丹後は日本のふるさと

目次 index

特集 丹後建国 1300 年 P2

フォトピックス P8

中東国際交流プロジェクト in 京丹後

—The Healthy Life—

地域医療の現場から P11

市政guide P12

下水道接続で快適な暮らしを／小中一貫教育が始まります①

市政トピックス P14

Xバンド・レーダー配備計画

山田府知事と中山市長が詰めへの協議

／「丹後農業実践型学舎」入舎式ほか

まちのわだい P22

網野神社で半世紀ぶりに“火祭り”が復活ほか

みんなの広場 P24

京たんごスポーツ P26

情報ファイル P28

市の文化財／ジオトピックス／視界遼考／宮川
優のたんご優遊見聞録／図書館だより ほか

京丹後人 ④ P32

かぶとやま工房

今月の「きょうたんごで“いいね”」

「ペルセウス座流星群」

（弥栄町「森林公園スイス村」付近）



ペルセウス座流星群が、8月12日深夜～13日未明に見ごろのピークを迎えました。真夜中前に月が沈む今年は、月明かりに邪魔をされない好条件となり、京丹後市でも各地で夜空を走る流星が観測できました。

流星は、宇宙空間にある直径1ミリのちりが、地球の大気との摩擦で燃える現象。ペルセウス座の方向から降り注ぐため、この名前が付いています。

皆さんも京丹後の夜空を眺めてみましょう。運が良ければ流星が見れるかもしれませんよ。

丹後王国と卑弥呼



丹後国が建国されるずっと前のこと、丹後半島を中心にした強大な地域国家が存在していました。この国を「丹後王国」と呼んでいます。その根拠の一つが峰山町赤坂にある赤坂今井墳墓です。赤坂今井墳墓は弥生時代の終わりごろ、二世紀末～三世紀初頭に造られた南北39メートル×東西36メートル×高さ3.5メートルの方墳と呼んでもいいような、当時としてはわが国最大級の墳墓です。

発掘調査の結果、一番大きな墓穴は長さが14メートル幅が10.5メートル、深さが2メートル以上もある巨大なものでしたが、残念ながら副葬品が出土するところまで発掘が行われず、どんな品々が副葬されているのかわかりません。

しかし、二番目に大きな墓穴（二番目といっても長さが7.2メートルもある大きなもの）からは、ガラス玉や碧玉で作られた他に例を見ない豪華な頭飾りや耳飾りなどが、真っ赤な朱の中に埋まっているような状態で見つかりました（この頭飾りは土ごと切り取られ、丹後

古代の里資料館で展示しています）。一番大きい墓穴に葬られたのが丹後王国の王とすれば、ここに葬られた人はおそらく女性で、王の后と考えられています。

ところで、ちょうど赤坂今井墳墓が造られた頃、邪馬台国の卑弥呼が倭国女王となりました。卑弥呼が女王となる前は、中国の歴史書に「倭国の大乱」と書かれたように、日本列島では国々が対立し戦いを繰り返していました。この乱をしずめるために、有力な地域国家が集まり合意の上、卑弥呼を女王に共立したと「魏志倭人伝」という中国の書物に記録されています。有力な地域国家とは、筑紫・吉備・出雲・播磨・讃岐・大和・尾張などで、その中に丹後王国も入っていたと考えられます。

そして、各地域の王たちは共立する女王がどんな人物であるのか当然知っていたはずですから、つまり、赤坂今井墳墓の丹後王国の王も卑弥呼を知っていたことでしょう。実際に会って話をしたのかもしれない。

このように考えると、赤坂今井墳墓の巨大な墓穴には何

が埋められているのか、大変興味があります。ひよっとしたら邪馬台国に関係するようなものが出てくるかもしれません。

巨大古墳の出現



さて、そのち丹後王国はさらに発展を遂げていきます。赤坂今井墳墓の約150年後の四世紀後半頃には全長198メートルの網野銚子山古墳と190メートルの神明山古墳（丹後町）が造られます。この時期に日本列島で造られた古墳としては五本の指に入る規模です。



丹後の歴史を紹介する展示物が並ぶ古代の里資料館

つまり当時の天皇陵に匹敵するような巨大古墳が丹後半島に二つ造られたわけで、古墳の大きさからいえば、これら丹後王国の王は天皇と同等の強大な権力を持っていたこととなります。この時期が丹後王国の絶頂期といってよいでしょう。

それでは、なぜ平野も少ない丹後に王国が誕生できたのでしょうか。それは弥生時代、丹後には中国や朝鮮半島から当時の最先端技術である鉄器文化やガラスなどの玉つくり文化がいち早く入ってきて、それらの技術力により国が栄え

ガイドと丹後建国1300年



不特定多数のお客様を相手にガイドしている者にとつて、「丹後建国1300年って何ですか？」と問われると、返答に困ってしまいます。確かに、丹後国ができて1300年の節目の年に当たるのは間違いないかもしれませんが、それだけ説明しても納得はしていただけない。節目の年ということだけがひとり歩きしているように思います。

ご存知のように、和銅6年（713年）にそれまでの丹波国が分割され、6郡（桑田郡・船井郡・多紀郡・氷上郡・天田郡・何鹿郡）の丹波国と5

郡（加佐郡・与謝郡・丹波郡・竹野郡・熊野郡）の丹後国が生まれました。

当時は、日本のあちこちで国の分割が行われたのは事実です。分割された国は、例えば肥前国が肥前国と肥後国に、筑紫国が筑前国と筑後国に、また、越前国が越前国・越中国・越後国に、吉備国が備前国・備中国・備後国といったように、二分割なら○前・○後に三分割なら○前・○中・○後と命名されたようです。

ところが、丹波国は丹前国・丹後国ではなく、丹波国・丹後国と命名されました。

『和名抄』には、分国された丹後国を「太邇波乃美知之利（丹波の道後）」と書いてあります。「丹波の道後」とは、丹波国の後ろの方、北の方という意味なのだそう。そうであるならば、丹後国は随分見くびられてきた国ということになります。

繁栄と衰退



時代を遡れば、丹後は陽のあたる素晴らしい国でありました。かつては、大陸から最先端の技術・文化が入って来

丹後建国1300年に思う。

このコーナーでは、丹後の歴史や魅力などの案内役を務めるお二人に、古代丹後の様子や思いを尋ねました。

の祖先である天照大神を竹野神社に祀ったと伝わっています。また、四道將軍丹波道主命が、丹波・丹後・但馬を平定した後久美浜に留まり、川上摩須郎女を娶り五女一男を生みました。その後、日葉酢媛をはじめ五人の姉妹が11代垂仁天皇に嫁ぎ、その子どもが12代景行天皇になっています。

そのような丹後が、何故「丹波の道後」になっていったのでしょうか。考えられるのは、大陸から丹後地方へ人や物が入ってきましたが、日本海を航海して行き来することは当時の技術ではかなり危険を伴うものでした。やがて、安全な新しい航路が発見されました。それは、大陸から関門海峡に入り瀬戸内海を通るルートです。陸揚げされた荷物も陸路で奈良近辺まではすぐです。こうやって丹後をはじめ沿岸部が衰えていくのに対して大阪・奈良に近い内陸部が栄えて行く構図ができていきました。

知恵と工夫でかつての丹後を



中江さんは、観光客を中心に市内の歴史や観光スポット、とび丸タクシーなどのガイド、観光・ジオパーク講演会の講師、歴史書発刊など多方面で活躍中。
☎ 75-1411



NPOまちづくりサポートセンター理事長
中江 忠宏 さん

過疎化・高齢化に加え「丹後ちりめん」などの地場産業も停滞し、重苦しい閉塞感が渦巻く京丹後市の現状からいなしえの丹後に目を向け、もう一度当時のように環日本海で物や人の交流が頻繁に行われ、繁栄した丹後を取り戻すようみんなで知恵を出し、汗をかき、現状を打開するため契機にしようという趣旨なら大いに賛成です。是非ともそういう取り組みになるよう期待したいものです。

丹後は古くから栄えた地であり、いにしえの丹後の誇るべきところを我々はガイドとしてこれからも発信していきたいと思っています。

三浦さんは、市内2つの資料館（丹後古代の里資料館、網野郷土資料館）の館長として、市内で発掘された文化財などを通して郷土の歴史を紹介する。
☎ 75-2431（火曜休館）



京丹後市資料館長
三浦 到 さん

最後にPRになりますが、丹後古代の里資料館では「丹後王国の世界」と題した展示を開催中です。丹後王国に興味のある方は、ぜひ一度ご覧ください。

現在の丹後も機械金属工業や繊維業など技術力に裏打ちされた企業が活躍していることは、丹後王国の時代に通ずることかと思えます。丹後の企業がさらに技術力を高め、丹後王国時代のような繁栄がもたらされることを願ってやみません。

丹後の技術力に期待



ることができたのです。



▲撮影風景（羽衣天女登場シーン）



▲撮影風景（乙女神社で伝説を紹介するシーン）

（※）高校生に自分の住むまちの自慢できる宝を撮影し「ビデオ」を制作することにより、地域への愛着や郷土愛を育むとともに、ケーブルテレビなどの媒体で放映し、地域の宝の共有と再発見につなげようとする取り組み。

ビデオ制作を終えて
私たちはこのプロジェクト
実施に当たり、峰山町の自
慢の宝をPRしたいと考え、
みんなでオリジナルストー
リーを考えました。
内容は、タクシーの運転手



峰山高校 生徒会長
山下 拓海さん



丹後の宝自慢ビデオプロジェクト（※）

さんが引っ越してきた姉妹に
峰山の伝説や魅力を紹介して
いくというもの。登場人物の
キャラクター設定や運転席で
の会話シーンは、みんなで意
見を出し合ってかなりこだわ
りました。

丹後建国 1300 年を記
念したプロジェクトに参加し
て、ここには私たちの知らない
素材（宝）がたくさんある
ことを再認識できました。こ
れをもっと深く知り、市内外
へ発信することで、この地域
を活性化していきたいです。

丹後建国 1300 年を機に

このコーナーでは、節目の年となる丹後建国 1300 年をきっかけに、
始まった 2 つの取り組みについて、近況や今後の展望を伺いました。



丹後小町踊り子隊
隊員 竹中 沙織さん

好きな着物で丹後を発信

昨年 11 月、「丹後小町踊り子
隊」の一員として活動をスター
トしましたが、みんな仕事を
持ちながらなので、全員そろっ
ての練習がなかなかできず（も
う少しメンバーが増えるとい
いですが）、扇子や傘を使っ
ての動きもあり、手を上げる
角度やタイミング、スピード



今年 4 月の京丹後ちりめん祭りでは初め
て踊りを披露した丹後小町踊り子隊

稲作発祥の地「月の輪田」で地域活性化を



二箇区「月の輪田」保存会
会長 野木 達秋さん

峰山町二箇区には、「月の輪田」と呼ばれ
る場所があります。

江戸時代の「丹後旧事記」には、豊受大神
が初めて稲作を始めた、我が国の稲作発祥の
地と記載されています。そして代々の領主は
除地としてこれを保護し、毎年身を清めて稲
を作り、白米一斗三升を初穂として、伊勢神
宮（三重県）に奉納していたそうです。

丹後建国 1300 年を迎えるに当たり、当
区と京丹後市が協働で「月の輪田」、「清水戸」を活用し、地域の活
性化を図るとともに、丹後米のブランド化を目指した取り組みを進
めることとしました。

去る 6 月 2 日の「田植え式」は、中山市長、山田府知事、異府議
会議員をはじめ多数の関係者にお世話になりました。7 月には、区
民の有志 10 人により、二箇区「月の輪田」保存会を結成し、苗や
田んぼの維持管理を行っています。苗も順調に成長し、約 1 畝の背丈と
なっています。11 月上旬には、収穫祭や伊勢神宮への奉納も計画し
ており、区民の皆さんにも参加して
いただこうと考えています。この取
組みにより、地元だけでなく市外
からも「月の輪田」の見学者が増え
ており、関心を持っていただいているように感じています。

今後も、「月の輪田」に関連した取り組みを行い、区民の交流や稲
作発祥の地として PR していきたいと思っています。



6 月に行われた田植え式の様子

を合わせるのが大変です。ほ
とんどのメンバーは踊りの経
験がなく、一からのスタートで
したので特有の動きに慣れる
のに今でも苦労しています。
メンバーは、「好きな着物で
踊れる」「丹後ちりめんの宣伝
をしたい」など動機はさまざ
まですが、丹後を盛り上げよ
うという気持ちはひとつです。
初舞台となった京丹後ちりめ
ん祭りでは、緊張よりも人前

で踊る達成感や楽しさ、また、
踊りを見ていただいた方から、
「格好良かった」「これからも頑
張って！」と声を掛けていただ
き、やりがいを感じることで
きました。
現在は、扇子を使った「華
の乱」「フラッグやリボン、傘
を用いた「百花繚乱」、丹後の
魅力が歌詞となっている「京丹
後音頭」など 3 種類の曲目を
披露させていただいているので

ですが、今後はさらに種類を増
やして、いろんな踊りを大勢の
方に見ていただきたいですね。
デビューしたばかりで、「丹後
小町踊り子隊」を知っておら
れる方も少ないかもしれませんが、
いつかは、「丹後小町踊
り子隊」が丹後の代名詞とな
れればと思います。
丹後小町踊り子隊に関する
お問い合わせ先 京丹後市商
工会（☎ 62・0342）

8 月
12 月
京丹後市立
「丹後古代の里資料館 丹後建国 1300 年記念展示」
場 京丹後市立丹後古代の里資料館



京丹後市立丹後古代の里資料館
（☎ 75-2431）火曜休館。

丹後建国 1300 年記念
丹後古代の里資料館夏季企画展示
「1300 年前の丹後
～丹後国ができあがったころ～」
時 9 月 8 日まで
「丹後王国の世界」
時 9 月 14 日～ 11 月 4 日
1300 年前の丹後分国に先立つ弥生時代から古墳
時代中期にかけての考古資料の中で優品を展示。
丹後建国 1300 年記念・細川ガラシャ生誕 450 周
年丹後古代の里資料館秋季特別展示 2
「松井康之と久美浜」
時 11 月 9 日～ 12 月 8 日

10 月
11 月
（予定）
丹後建国 1300 年記念
京丹後・らくご温泉
丹後地域産業活性化推進会議



吉本興業に所属する落語家が温泉
地で丹後の歴史、丹後建国 1300 年
に関する創作落語を行います。
場 京丹後市商工振興課
（☎ 69-0440）

丹後建国 1300 年 記念イベント

11 月
30 日
丹後建国 1300 年事業シンポジウム
丹後国風土記の
世界を旅する



講演とパネルディスカッション
時 11 月 30 日 13:00 ～
場 アミティ丹後
問 京丹後市教育委員会事務局
文化財保護課（☎ 69-0640）

9 月
10 月
（予定）
丹後建国 1300 年記念
丹後建国 1300 年
記念ツアー



旅行会社とタイアップした丹後建
国 1300 年記念ツアーを実施します。
問 京丹後市観光協会（☎ 62-6300）

9 月
10 月
（予定）
海の京都・丹後建国 1300 年記念
北近畿タンゴ鉄道
企画列車



一定期間に海の京都・丹後建国
1300 年を記念として、企画列車を運
行。（記念スタンプや列車内での企画）
問 KTR 利用促進協議会事務局
（☎ 0772-45-1601）

10 月
26 日
27 日
丹後建国 1300 年記念
食の探訪・記念物産展



丹後建国 1300 年や丹後王国にち
なんだ物産展に商品を募集し表彰しま
す。同時に丹後の珍しい食の大試食会
を開催します。場 丹後あじわいの郷
問 京丹後市商工会（☎ 62-0342）

丹後は日本のふるさと
丹後建国 1300 年

丹後建国 1300 年

検 索

市民の皆さん

丹後建国 1300 年という節目を迎えた本年、今一度地域の「宝」を
見つめ直し、そして未来へ引き継ぐ第 1 歩を共に踏み出しましょう！！

問 丹後建国 1300 年記念事業実行委員会事務局
（京丹後市企画政策課内 ☎ 0772-69-0120）



イスラエル、パレスチナの子どもたちとホストファミリー、関係者らで記念撮影（歓迎式典で）

平和への希望を胸に交流

イスラエル、パレスチナから子どもたちはじめ12人が来丹

中東国際交流プロジェクトin京丹後

8月7日～13日

中東紛争によって肉親を亡くされたイスラエルとパレスチナの子どもたちが本市を訪れ、相互理解や平和について考えたり、日本文化に親しんだりする「中東国際交流プロジェクトin京丹後」（同プロジェクト実行委員会主催）が開催されました。同プロジェクトは、ホストファミリー、市内3高校の生徒たち、実行委員会、NPO法人大本イスラエル・パレスチナ平和研究

所はじめ多くの関係者の支援と協力により開催されたもので、8月7日から1週間の日程で行われました。イスラエルとパレスチナの子どもたち10人（各引率者含め12人）は、市内のホストファミリーと一緒に市内を観光したり、地元高校生と浴衣の着付けや茶道を体験したりすることなどを通じて、信頼関係の構築や平和に向けた対話の重要性などを改めて学びました。

一人ひとりの命を尊び合う世界に

このプロジェクトは、中東紛争によって肉親を亡くされたイスラエル、パレスチナの子どもたちが、京丹後市でお互いを理解し合うこと、また同世代の日本の子どもたちと触れ合う中で、本市の国際交流を推進するとともに平和の大切さを認識し、国内外へ貢献することで幸福を育むことが目的。

イスラエルとパレスチナの子どもたちと引率者は8日夜、市内に到着し、ホームステイ先となるホストファミリーと対面。市内の6つの家族が受け入れました。宿泊は、イスラエル、パレスチナから1人ずつ選ばれたペアが、一つ屋根の下で寝泊まり。子どもたちのさまざまな交流が始まりました。

「思い出深い京丹後滞在に」

翌9日にはアグリセンター大宮で歓迎式典が行われ、同プロジェクト実行

委員会会長の中山市長は「交流を通じて、皆それぞれが国や民族の境界を越えて、一人ひとりの命に互いに向き合い、尊び合う平和への想いが広がっていくことを確信している」とあいさつ。また、山田京都府知事、全面的な資金支援を受けた世界連邦宣言自治体全国協議会会長の山崎綾部市長、外務省の渡邊審議官らも駆けつけ、子どもたちを歓迎しました。レセプションでは、府立峰山高校の平井葵さんが英語でスピーチ。「皆さんの滞在が思い出深いものになるよう全力を尽くす」と話しました。また、同校ブラスバンド部の演奏や、丹後小町踊り子隊、丹後邦楽同好会

の芸能が披露された他、名曲「イッツ・ア・スモール・ワールド」（小さな世界）を全員で合唱。さらに、実行委員会からイスラエル、パレスチナの子ども

たちに記念品として浴衣が手渡され、イスラエル、パレスチナの子どもたちからは自国の絶景などが紹介された絵葉書が贈られました。

京丹後の自然や文化を体験

9・10日の両日、子どもたちは市内を観光。久美浜湾で行ったドラゴンカヌー体験では、府立久美浜高校の生徒と一緒に海面を滑らせていました。また、同校生徒と一緒に浴衣の着付け、茶道体験などを通じて日本文化に親しみました。さらに、鳴き砂文化館（網野町）で地元区長や府立網野高校の生徒から「鳴き砂」の紹介を受けたり、大成古墳群（丹後町）を訪れたりして、京丹後市の地質遺産や歴史的遺産を学びました。

ピアノやリコーダーで交流

3日間のホームステイでは、ホストファミリーと一緒に家の近くを散歩したり、食事を作ったりして交流を深めるとともに、ピアノやリコーダーを使って意思疎通を図る家庭もあるなど、飾らない普段の暮らしで子どもたちをもてなしました。初めは、口数が少なかった子どもたちも、日本の文化体験やホストファミリーと行動を共にすることで少しずつ打

ち解け、互いを気遣ったり、談笑したりする様子も見られました。

笑い声が響く夕食会

10日の夕食交流会では、プロジェクト実行委員会の久保幸司副会長の発声により、参加者全員が「ピース・ハッピー・フレンド・カンパニー」と声高らかに乾杯。その後、イスラエル、パレスチナの子どもたち一人ひとりがプロジェクト参加のきっかけや、平和に対する思いなどをスピーチしました。

また、地元の中高生が駆けつけて交流に参加。お互いの生活スタイルや趣味、ファッションなど若者らしい話題で盛り上がり、友好の輪が広がっていました。

ステージでは、網野中学校の生徒が「網中体操」を演じたり、参加者が踊りを披露。市内では最後の交流イベントということもあり、会場は終始笑い声と喝采に包まれていました。



1 ホストファミリーと対面 2 英語であいさつする峰山高の平井葵さん 3 久美浜高校茶道部がお茶でもてなし 4 千日会観光祭で花火を満喫 5 夕食会で踊る子どもたち 6 市内の高校生（左）と若者らしい話題で盛り上がった 7 ホストファミリーの子どもを膝の上に乗せて手遊びするイスラエルのユバル・ローネンさん 8 一緒に海に入って記念撮影



定期健診で慢性腎臓病を早期発見

生活習慣を見直すことが予防の第一歩



今回は、腎臓の働きや慢性腎臓病、透析などについて、弥栄病院の田中医師に聞きます。

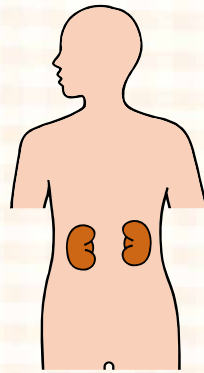


文
弥栄病院
泌尿器科部長
兼人工透析内科部長

たなか としゆき
田中 稔之

腎臓は体の水分環境を整える

腎臓の働きをご存知ですか。腎臓は、握りこぶしくらいの大きさの臓器で、腰骨のすぐ上辺りの背中側に、左右1つずつあります（右図）。主な役割は、血液をろ過し、食事や飲水などによって身体に溜まる余分な水分や、酸・電解質、老廃物からなる尿を作っています。作られた尿は、尿管という管を通して膀胱に溜まり、その後、体の外に出されます。



このように、腎臓は、体の中の水分環境を一定に保つ役割を担っています。

他にも、腎臓には血圧を上げるホルモンを作って血圧のバランスを保ったり、赤血球を増やすホルモンを作って貧血を防いだりする働きがあります。さらに、ビタミンDを活性化させ、腸管からのカルシウム吸収を促進しています。

慢性腎臓病患者は 1000 万人以上

慢性腎臓病は、慢性的な腎臓の病気のことをいい、糖尿病に起因する糖尿病性腎症をはじめ、高血圧症、腎炎、高尿酸血症などを原因として発症するもので、その患者は国内に1000万人以上いるといわれています。

現在では定期健康診断があり、血液検査、尿検査、超音波検査等にて慢性腎臓病の早期発見・早期治療が可能となりました。それでも糖尿病、高血圧症をはじめとした生活習慣病、いわゆるメタボリックシンドロームが蔓延しているため、慢性腎臓病となり、その病状が進行し、腎臓の機能が低下した状態、慢性腎不全という状態になる患者さんが増加しています。

腎臓の機能が低下した状態（慢性腎不全）になると、余分な水が体に溜まり、体がむくんだり、血圧



▲弥栄病院の透析室

が上がったり、酸・電解質異常が生じて尿毒症、貧血、骨粗鬆症になったりします。

そして、腎臓の機能がほとんど全て失われた状態（末期腎不全）になると、腎臓移植か透析療法が必要となります。透析治療の場合、原因疾患治療はもちろん、より厳密な生活指導、水分制限を含めた食事指導、薬物治療が必要となります。

透析患者は、全国で30万人を超えておりますが、30万人というと京丹後市の人口の5倍以上ですから、大変多くの患者さんが透析治療を受けていることとなります。

もちろん、糖尿病などの原因疾患のしっかりとした治療、生活指導、食事指導、薬物治療を行ってその改善、その病状進行防止に努めなければなりません。一度慢性腎不全になると、現在の医療では元の正常な状態に戻すことはできません。

定期検診を受けて早期発見

行政組織、民間組織によるさまざまな社会福祉施策も末期腎不全患者さんをサポートするように努めています。けれど一番大事なことは、慢性腎臓病にならないよう一人一人が定期健康診断を受け、早期発見・早期治療に努めることです。生活習慣病予防、メタボリックシンドローム予防に努めることです。そして「身体的にも、精神的にも、社会的にも」皆で健康になることが一番大切です。



安倍首相と一緒に記念撮影（首相官邸で）

※安倍首相との面談の様子は、京丹後市ホームページからご覧いただけます

イスラエル、パレスチナの子どもたち 安倍首相と面談

平和実現へメッセージ

11日に市内を離れた一行は、京丹後市内の高校生6人と共に12日、首相官邸を表敬訪問し、安倍晋三首相と面談。中山市長、イスラエルのヤルデンさん、ユバルさん（引率者）、パレスチナのバルキーズさん、ワジーさん（引率者）、安倍首相がそれぞれ平和への考えを話しました。

また、子どもたちは安倍首相に、平和実現へ向けた子どもたちのメッセージ（下）をイスラエルとパレスチナの両大統領と、和平交渉を仲介するオバマ米国大統領へ渡してもらったよう依頼しました。

全日程を終えた13日、子どもたちは、日本で得た深い友情とぎゅっと詰まった思い出を胸に、帰路に就きました。



（日本）

安倍 晋三 首相

経験生かして和平貢献を

「このプロジェクトに参加し、貴重な経験の中で生まれた友情は、一生の大切な財産になると信じている。日本政府としては、中東和平に向けてしっかりと貢献していきたい。若い皆さんも、この経験を生かして、和平の実現に貢献されることを期待する」



（パレスチナ）

バルキーズ・ファライさん

平和な世界観を教わった

「日本での経験は、私に人のことを思いやること、また、平和、平等な世界観を教えてくれた。自分の世代には難しいかもしれないが、自分の子どもの世代には平和な世になってほしい」



（イスラエル）

ヤルデン・ベンオゼルさん

受け入れる価値観学んだ

「パレスチナ人の友人をつくり、ホストファミリーと3日間過ごしたことで、私は、他人を受け入れ思いやるという日本が重んじる価値観を学んだ。また、パレスチナ人と多くの共通点があることを知った。そして、平和は可能なことだと分かった」



（京丹後市）

中山 泰 市長

喜びや悲しみに国境ない

「ここには2つのグループではなく、同じ時間を共有することで、一つの家族、兄弟になった1つのグループを連れてきた。『悲しみや喜びに国境や民族を越えて差はない。乗り越えて同じ平和を実現することができると』と実感され始めている」

イスラエル、パレスチナの両大統領へのメッセージ

イスラエル国大統領 シモン・ペレス 様
パレスチナ自治政府大統領 マフムード・アッバース 様

私たちの未来の平和と和解に向けて

貴重なプロジェクトの中でホームステイや日本の同世代の子どもたちとの交流を通じて互いに同じ時間を共有し、互いにいろいろなことを話し合い、理解し合い、交流を深めました。

その中で、私たちは、生まれ育ち経験した環境は異なっても、紛争による悲しみや喜びに決して宗教や民族の違いはなく、また価値観の違いはあっても同じ一人の人間として共に悲しみや喜びを共有し、共にそれを受け止め合えば、違いを乗り越え大切な同じ「平和」を目指すことができると実感しています。

双方のリーダーの方々には、困難に直面しても絶対にあきらめず、粘り強く話し合いを続けてくれることを切に望みます。

私たち自身の未来の平和を創ること、その私たち自身が、共に時間を共有し理解をし合うことを続けるなら、違いを乗り越え共に同じ平和を目指すことができると確信をし始めています。絶対にあきらめないで。

国や民族の境界を越えて、平和の根っこにあるイスラエルとパレ

<安倍首相にご伝達を依頼>

スチナの一人一人の命と人生にこそ向き合い、互いに尊び合い、理解を深め合うことが、必ずや未来の平和と和解に導く道であると感じています。そのことが、2つの国を結び包む平和の実現への未来を紡ぐと思います。

相手と自分、国や民族は違っても、相手も自分もかけがえない同じ一人の人間。憎しみの原因が相手にあると思っても、相手から見れば自分を鏡に映したかのごとくであると理解できます。今こそ、国や民族を越えてかけがえない一人一人の人間として向き合い、尊び合い、共に悲しみも、そして喜びも互いに共有しよう。それが悲しみの連鎖を平和と和解に導く道であると確信します。

私たちの未来、イスラエルとパレスチナすべての人々の未来のために、決して、決して、絶対にあきらめないで！切に、切に望みます。

2013年8月12日

中東国際交流プロジェクト in 京丹後
イスラエル・パレスチナ生徒一同



安倍首相にメッセージを手渡すヤルデンさん（奥）とバルキーズさん

中学校区の
目指す子ども像



就学前から中学校卒業まで、
一貫した目標とカリキュラム
で指導します。

市が進める「小中一貫教育」
小学校と中学校は、円滑な接続を目指し、児童生徒や取り組みについての情報交換、教職員の交流などによって連携を図っています（小中連携）。「小中一貫教育」では、その連携をさらに進め、小中学校が同じ目標と方針を持ち、9年間の義務教育を通じたカリキュラムを編成して系統的な指導を行います。

小中一貫教育は、中学校区を単位とし、校区内の小学校と中学校が緊密に連携、交流して行います。本市では、これに幼稚園・保育所を加え、就学前から中学校卒業まで一貫性のある指導を進めることで、子どもの「生きる力」を今以上に高めます。

笹倉校長「昨年度当初に峰山中学校区の小学6年生に行ったアンケートでは、4割以上の子どもが、中学校に進学するのが心配と答える状況

Q 峰山中学校区の課題は何ですか
松田校長「峰山中学校には、6つの小学校から生徒が入学してきます。そのため、生徒にとっては、新たに人間関係をつくり中学校生活に適應することに戸惑いが大きく、入学時に不安定になりやすい傾向が見られます。このことが、学力や生活に少なからず影響しています」

市教育委員会が「小中一貫教育導入研究校」に指定している峰山中学校と同町内の6小学校では、実践的な研究を進めています。そこで、峰山中学校の松田正則校長、丹波小学校の笹倉武雄校長に取り組みの様子を伺いました。

学校長にインタビュー

Vol.1

小中一貫教育が始まります

市教育委員会は、昨年11月に「京丹後市の学校教育改革構想」を策定しました。この構想では、「小中一貫教育」を平成26年度から市内に順次導入し、平成28年度には全ての小中学校で実施する予定です。「小中一貫教育」の内容や学校の取り組みを、シリーズでお伝えします。

水質保全と生活環境向上へ

下水道接続で

快適な暮らしを



市では、公共用水域の水質保全と生活環境の向上のため「公共下水道事業」、「集落排水事業」、「市設置型浄化槽整備事業」の各事業により整備を進めています。汚れた水をきれいにすることで、川や海の水質を守るなど、目に見えないところで皆さんの生活を支えています。下水道に接続して「きれいな京丹後市の川や海」を守りましょう。

下水道の役割は主に3つ

【生活環境の改善】

日常生活では、炊事、洗濯、トイレなどにたくさんの水が使われます。使用後の汚れた水が道路側溝に流れて住宅の回りにたまると、悪臭や蚊、ハエなどが発生しやすくなります。この汚水を下水道により排除することでまちが清潔で美しくなります。

【公共用水域の水質保全】

日常生活で使われた水をそのまま水路や道路側溝に流してしまうと、川や海は汚れていきます。日常生活で使われた後の汚れた水を下水処理施設（峰山・大宮浄化センター等）で、きれいな水に処理・浄化してか



ら自然に戻すことで、川や海の水質を守り、豊かな自然環境を守ります。

【快適な生活に】
清潔で衛生的なトイレが使えるようになり、悪臭が発生することも少なく快適な生活が送れます。

水環境改善のためにも接続を

巨額の費用をかけて造った下水道も、皆さんに使っていただかなくては、地域の水環境は改善されず、下

水道の目的は達成されません。

下水道に接続が可能な区域で、まだ接続されていない方は早期接続にご協力ください。

下水道を使用するためには排水設備の設置や水洗トイレへの改造工事などが必要です。また、くみ取り式のトイレは、供用開始の日から3年以内に水洗トイレに改造し、下水道に接続していただくことになっています。公共用水域の水質保全のためにも、できるだけ早めに工事をしてください。

工事は市の指定業者に依頼を

市では、皆さんが安心して工事が依頼できるよう、必要な知識と技術を持った排水設備工事業者を「京丹後市下水道排水設備指定工事業者」として指定し、市のホームページに掲載しています。排水設備工事は、指定工事業者に依頼して行ってください。

また、工事の費用や期間などは事前に指定工事業者に見積りしていただき確認してください。

なお、工事の前には市の確認が必要です。必ず市へ申請をしてください。

図普及推進・料金課

☎69・0540

※下水道整備に関することは下水道整備課（☎69・0550）にお問い合わせください。



▲6月8日に催された、峰山中学校の合唱祭には、峰山町内6小学校の6年生も参加して合唱した

がありました」

Q 小中一貫教育で解決できますか

松田校長「義務教育の9年間、子どもたちが途中でつまづくことなく、夢と希望を持って学び続けることが重要です。小中一貫教育を導入することで小中学校間の段差を低くし、その仕組みを整えたいと考えています」

笹倉校長「小学校では、同じ中学校で学ぶことになる子どもたちに目標や方針をそろえて同一步調で指導し、交流を進める必要があります。小中一貫教育によって、小学校間の連携を強化しています」

Q どんな取り組みを行っていますか

松田校長「小学生の段階で中学校の学習や生活を知り、スムーズな入学につながるための取り組みとして、小学6年生を対象とした部活動体験を行っています。土曜日を活用し、希望する部活動を中学生に交じって体

普及推進施策の概要

市では、下水道普及推進の施策を設けており、概要は以下のとおりです。下水道へ接続される際には、ぜひご活用ください。※詳細については各担当課までお問い合わせください。

○排水設備アドバイザー派遣事業

公共下水道の供用開始区域内で、未接続のお宅へ排水設備アドバイザーを派遣して排水設備工事の相談に応じ、助言・提案等を行い水洗化のお手伝いをします。ご利用にあたり費用負担はありません。

（問）下水道整備課 ☎69-0550

○水洗化推進支援事業補助金

既存住宅の新規の排水設備工事に対し補助金を交付するものです。【補助額 一般世帯等 5万円／高齢者世帯 20万円(5万円＋15万円) ※高齢者世帯とは、排水設備工事の完了検査日において市内に住所を有する世帯全員が65歳以上の世帯です】

（問）普及推進・料金課 ☎69-0540

○排水設備工事に係る利子補給金

排水設備工事にかかる工事費用の支払いのために、指定金融機関から融資を受けた人に対し、利子補給金を交付するものです。

（問）普及推進・料金課 ☎69-0540

Q 保護者や地域の理解は？

松田校長「11月20日に、峰山中学校で研究発表を行います。中学校の校舎で学習する小学6年生の様子も公開します。保護者や地域の皆さんにご覧いただき、小中一貫教育を実感していただきたいです」

Q 子どもたちは変わりましたか

松田校長「小学生は、部活動や合唱祭を体験することで、中学生の頑張る姿に憧れを持ちます。中学生にとっても、小学生と交流することによって、優しい心や自信が育つなどのメリットがあります」

笹倉校長「先ほどのアンケートを年度末にも行ったところ、中学校進学が楽しみと答える児童の割合が大きく伸び、手こたえを感じました」

図 学校教育課

☎69・0620

山田府知事と中山市長が詰めへの協議

―住民の安全・安心を詳細に検証。安全・安心を確保するための条件も整理―

今年2月末、防衛省から申し入れのあった航空自衛隊経ヶ岬分屯基地（丹後町袖志）へのXバンド・レーダー（TPY-2レーダー）配備計画について、市では、約5カ月の間、地元皆さん、市議会をはじめ全市を上げて、住民皆さんの安全・安心の確保が大前提という立場から、配備による問題や改善すべき点などを洗い出し、さまざまな角度から検証を行ってきました。

このような中、7月11日に市議会各会派等から返答いただいたご意見も踏まえ、かつ、住民の安全・安心を確保するための条件を整理した上で、8月1日、これまでの検証結果などを山田府知事と共に協議を行いました。

市では、協議の結果を受けて6日、市議会議員全員協議会、7日および18日に住民説明会を開催し配備計画受け入れについて、市の考え方について理解を求めました。



▲Xバンド・レーダー追加配備に関する金澤防衛事務次官（左端）と中山市長との面談（2月26日、京丹後市役所で）



▲3月以降、市民や市議会議員に対して、防衛省によるレーダー配備計画に伴う説明会が行われた

山田府知事との協議

（8月1日・京都府庁で）本市の中山市長は、山田府知事に対して、これまでに開催した住民説明会で出された意見や市議会での議論の経緯などを説明し、Xバンド・レーダー配備については、事件・事故の発生や健康・環境への被害の恐れがある場合の対応／生活・産業に対する影響への対策／日米地位協定の見直し検討の要請など防衛省に対する10項目の条件が満たされれば、前向きに進めるとし、また、府に対しては警察官が24時間体制で常駐することや交通量増加に対応した道路改良についても要望しました。

山田府知事からは、施設ができた場合、宇川地域の水不足の懸念について質問があり、（大村副市長が）水道施設の改修等で基本的に解決している旨回答しました。

協議の中で中山市長は、「住民の安全・安心の確保が大前提。他方で、それが確保されるなら、問われているのは国益。住民の安全が確保されるということであれば、日本の地域の一員として協力するのはむしろ道理」と考えを述べました。

京丹後市 検証結果報告（要旨）安全など確認

山田府知事も「一番に尊重すべきは京丹後市の意向。しっかりと連携をし、府議会の意向を確認した上で判断したい」とコメントしました。また、府への要望についても、関係機関と話しして前向きに対応すると返答をしました。

本年2月26日、金澤防衛事務次官が来庁され、国内2基目となるXバンド・レーダーの配備について丹後町の経ヶ岬分屯基地を候補地とする旨の申し入れ以降、住民や市議会議員への説明、国内最初の配備地となる青森県つがる市への視察など対応経過（15頁参照）を説明。さらに、配備となる場合に懸念される事項について、5項目に分類した防衛省への質問およびその回答などのやりとりについて報告しました。（詳細は市ホームページに掲載）

電波自体の健康への影響について

―人体への影響について―
―「レーダー前面に限定的な立ち入り禁止区域を設定するこ

と、かつ、その外側では海上を含め直接照射されないこと、かつ、災害等で万一ずれる場合はただちに停波されること」を確認しています。

その上で、「少なくとも人体に直接照射されなければ健康被害は及ぼさないと考えられていること」、また「もし万一事故等により人体に直接照射されるケースがあっても、細胞の遺伝子を損傷する等の被害は生じないこと」の旨、確認しています。

―農産物や自然環境、鳥類への影響について―
―影響はないと考えている旨確認をしています。―
―電波強度の調査について―
―レーダー設置前後において、住民の健康診断と、漁業者の不安解消のため海上での電波強度などの調査を行い検証することを確認しています。

電波の日常生活の影響について

―騒音について―
―車力の例もお聞きする中で、防音壁の設置方法を工夫するなどにより現状レベルに保つ旨確認しているとともに、レーダー設置前後の検証も行うことを確認しています。

Xバンド・レーダー配備計画に関する対応経過一覧

月 日	対 応 内 容 な ど
2月26日（火）	金澤防衛事務次官と中山市長が面談し、事務次官より国内2基目となるXバンド・レーダーの追加配備について、経ヶ岬分屯基地を配備候補地としたい旨説明
3月11日（月）	住民説明会（宇川小学校体育館：市全域対象） ・配備概要について説明（参加者約240人）
3月12日（火）	住民説明会（丹後地域公民館：市全域対象） ・同上（参加者約130人）
3月13日（水）	市議会 議員全員協議会開催（議場） ・同上
3月25日（月） ～26日（火）	京丹後市（7人）・関係住民（20人）による青森県つがる市視察 ・25日（つがる市長と中山市長面談、米軍車力通信所視察） ・26日（つがる市車力地区住民との懇談）
3月28日（木）	市議会に「基地対策調査特別委員会」を設置
4月 9日（火）	防衛省に質問書提出
4月11日（木） ～12日（金）	基地対策調査特別委員会が青森県つがる市を視察（委員11人、事務局2人） ・11日（つがる市役所視察） ・12日（米軍車力通信所視察、地元住民との懇談）
4月24日（水）	・防衛省から質問に対する回答書を受領 ・住民説明会（尾和会館：尾和区民対象に質問に対する回答の説明・参加者29人）
4月25日（木）	住民説明会（袖志農民研修所：袖志区民対象） ・同上（参加者67人）
4月26日（金）	住民説明会（谷内区民館：谷内・上山区民対象） ・同上（参加者24人）
4月27日（土）	住民説明会（宇川小学校体育館：市全域対象） ・同上（参加者約80人）
5月 9日（木）	住民説明会（丹後地域公民館：市全域対象） ・同上（参加者約80人） 基地対策調査特別委員会が視察報告書を議長へ提出
5月10日（金）	住民説明会（峰山小学校体育館：市全域対象） ・同上（参加者約70人）
5月14日（火）	市議会が防衛省に質問書提出
5月16日（木）	防衛省に再質問書提出
5月20日（月）	市議会 議員全員協議会開催（議場） ・市議会からの質問について回答
5月28日（火）	再質問に対する回答書を受領 住民説明会（袖志農民研修所：袖志区民対象に再質問に対する回答の説明・参加者53人）
5月29日（水）	住民説明会（尾和会館：尾和区民対象） ・同上（参加者28人）
5月30日（木）	住民説明会（宇川小学校体育館：市全域対象） ・同上（参加者約100人）
5月31日（金）	住民説明会（久美浜市民局：市全域対象） ・同上（参加者26人）
6月 7日（金）	再質問に対する回答の詳細版受領 市議会議員全員協議会（議場）で再質問に対する回答の説明（詳細版による）
6月19日（水） ～21日（金）	市議会 一般質問 市長が「真剣に検証を重ねてきて、大きな課題について峠を越しつつある。乗り越えるための条件を付しながら受け入れていく方向をしっかりと見据えて、知事ともよく意志疎通をして、手続きを重ねる」と発言
7月11日（木）	市議会各会派等が市長に対し、Xバンド・レーダー配備受け入れについて意見
8月 1日（木）	京都府との協議 これまでの経過報告ほか
8月 6日（火）	市議会議員全員協議会（議場）で京都府との協議ほか経過報告
8月 7日（水）	住民説明会（宇川小学校体育館：市全域対象 参加者約180人）
8月18日（日）	住民説明会（尾和会館：尾和区民対象、袖志農民研修所：袖志区民対象 参加者計63人）

また、ドクターヘリや捜索救助ヘリなどの運用に支障を来さないこと、テレビ・ラジオ・携帯電話等の民生用電波についても影響を来たさず、万一影響があっても、解消を確実に図るとの旨の確認をしています。

こうした電波の影響・不安は、京都府で設置された参与会の意見（16頁）も含め、特に問題がないことについて、市民の理解は深まったものと考えています。

地域生業・産業、日常社会活動への影響について

―農業や漁業等地域の生業・産業について―
―「環境汚染はもとより風評被害も発生しないが、影響を来

たすことが無いよう、政府一体となって中長期にわたり万全な対応を講ずる」旨確認しています。

―景観について―
―国道沿いの植栽について具体的なイメージも示されるな

（事件・事故、被害等対策）

①Xバンド・レーダーの配備に伴い、あらゆる事件・事故の防止に総力をあげて取り組むとともに、仮にも事件・事故が発生した場合には、責任をもって適切な措置を講ずること。

特に、万一にも決してあってはならない健康への影響または環境被害（農畜産物及び漁業又は鳥類の飛来等を含む）等が発生した場合またはそのおそれが合理的に出てきた場合には、安全性が回復・確認されるまでの間の停波を含め責任をもって適切かつ確実な措置を講ずること。

（上記に関連する検証）

②海上における漁業従事者の不安に適切に対処するため、レーダー設置の前後に、レーダー配備地の前面周辺海域における電波強度を実測比較し、有意な電波影響のないことを検証すること。

③周辺地域への防音に適切に対処するため、レーダーの設置の前後に、周辺地域の騒音レベルの比較調査を行い、有意な影響のないよう万全な騒音対策を講ずること。

④海への排水（一日当たり50ト程度と見込）の環境への影響に対する不安に適切に対処するため、レーダー設置の前後で環境への影響調査を行い、必要な措置と検証を行うこと。

（生活・産業影響への対策）

⑤同レーダーの配備に伴い、農業、漁業、観光等地域の生業・産業はじめ日常の地域生活の維持に負の影響を直接・間接問わず来すことのないよう、

民生安定、生活環境（公用ヘリコプター運用、民生電波等への影響含む）、産業振興環境の整備、住民福祉等に対して万全な予防および支援措置を講ずること。

⑥同レーダー配備に伴い大きく増加する水の使用に適切に対処するため、地域住民の生活維持に絶対に欠かせない水の供給環境について、地元区、地元自治体の意向を踏まえ万全な措置を講ずること。

⑦米軍関係者の施設・区域外における居住場所の選定に当たっては、地元区、地元自治体の意向を踏まえ、適切・丁寧な手続きを確保すること。

⑧予想される交通量の増加や、決してあってはならないが万一の事態への懸念に備えた迅速な住民避難・施設保全等のため、各種道路の拡幅・新設等必要不可欠な交通環境・アクセスの整備に対し真摯かつ万全に対応すること。

（日米地位協定の見直し検討の要請）

⑨米軍関係者による事件・事故等が発生した際の刑事裁判手続きに関し、日米地位協定における米軍人・軍属に対する裁判権の行使に関する運用について住民不安の解消のため絶えざる改善に努めること。

（その他全般）

⑩上記のほか、本年2月の候補地申し入れ以降、累次にわたる質問書をはじめ市議会議員全員協議会、住民説明会においていただいた国側回答の内容について、誠意と責任をもって履行されること。

受け入れに際する条件
（案・左図）

この間の本市・京都府の検証の結果を総合的に踏まえ、住民

の安全・安心の確保のために今後担保していただくべき条件を整理し、政府として責任ある対応の確認が得られれば、受け入れについて必要な協力ができると判断。問われているのは国益であり、安全・安心が担保できれば、同じ国の一員として協力

はむしろ道理と考える、と説明をしました。

市議会議員全員協議会への説明

（8月6日・議場で）
6日開催の市議会議員全員協議会では、1日の山田府知事との協議内容などこれまでの経過報告を行いました。

中山市長は、今年2月、防衛省から（経ヶ岬分屯基地への）Xバンド・レーダーの配備候補地としての申し入れ以降、5カ月の検討を踏まえ、事前の段階としての安全・安心の確保が確認できたものとして、考えをまとめる時期に来ている旨の説明を行いました。

協議会での質問に対する本市の回答や考えを、抜粋してお知らせします。

安心という点で、住民の不安を払拭できたと考えているのか

——不安の払拭については、これは考え方を表明する時点までに、科学的に検証する部分と、今後の対策の在り方を確認しておく部分と二つに別れると思います。科学的な検証については、府参与会のご審議を含めさせていただいて、今後は治安対策や



山田府知事（写真右）へ検証の状況など説明する中山市長（京都府庁で）

ど、周囲との調和に可能な限りの対応を取る旨確認しています。

■ 水問題について

——周辺地域において水不足などの影響が出ないよう最大限努めるとともに、障害が生じた場合は周辺環境整備法等に基づき適切に対処する旨確認をしています。

具体的には、袖志区における農地の用水不足に対しては、現在区内の河川からの取水を、自衛隊から米側に切り替えるなど対応を提案され、地元も一定の理解を示されています。

また、尾和区（おわ）の用水事業の継続・充実も同様に地元の理解を得ております。

■ 交通環境の整備等について

——日常の交通安全や決して

あってはならない万一の事態の場合の住民避難等に備える国道等の交通環境の整備についても、「政府一体となって真摯に対応する」旨確認をしています。

軍人の居住について

治安の確保について

——「地元や国、米軍、関係機関等との情報交換会、防衛局による連絡・相談窓口の常設、安全講習会や巡回パトロールなどの徹底のほか、交流事業にも積極的に取り組み、事件・事故の無いよう誠心誠意取り組む」旨確認しています。

また、居住地については、「施設・区域外における居住の具体化に当たっては、地元と相談し要望も聞く」旨確認をしています。

■ 交番・駐在所の設置等について

——地元の意見も踏まえながら、今後、京都府と相談・連携を図っていくとのことであり、地元の要望・意見について真摯な対応をお願いするものです。

レーダーの対撃安全性について

■ レーダーの対撃安全性について

——「万一、我が国への攻撃の

予兆等が確認されれば、その攻撃の様態に応じて、必要な措置を取るとともに、イージス艦や迎撃ミサイル部隊などを展開させるなど、我が国の防衛および住民の安全を確保するため、万全の態勢を取る」旨、また、「レーダーの配備は、それにより得られた情報がリアルタイムで日米間で共有され、弾道ミサイルからの攻撃に対する我が国の防衛能力の強化に寄与し、我が国への攻撃の抑止力を高める」旨を確認しています。

市議会 多くの会派等から受け入れに向け意見

市議会においても、この間、特別委員会、視察、議員全員協議会など真剣・真摯な審議を重ねられ、市からの問い掛けに答え、今般7月11日、市議会の多くの会派・無党派の皆さんから、「市民の中にある不安や戸惑いの声に留意し、十分配慮しながらも、（中略）市民の安心・安全の確保を前提に、レーダー配備はやむを得ないものと考えている。条件を付し、受け入れに向けて総合判断を求める。」（要旨。詳細は、市ホームページに掲載）旨のご意見をいただきました。



京丹後市の状況を確認する山田府知事（中央）

京都府 経過報告（要旨）
参与会 電磁波影響なし

京都府からは、2月26日に防衛省からレーダー配備計画について説明を受けた後、懸念事項など4回にわたる防衛省への質

問や、青森県車力通信所や経ヶ岬分屯基地への訪問、電波による人体への影響（左図の京都府参与会の意見）についての調査・検証、府議会との協議などについて経過報告がありました。

山田府知事は、「住民の安心安全は譲れない」とし、生活に直結する尾和用水や簡易水道などの水問題、米軍人居住に対する周辺地域の警備体制の拡充をはじめ、経ヶ岬周辺の景観への配慮などについてもしっかりとした対応を要望することとし、今後府議会等の理解を得ながら、配備に向けた対応を行っていきと話しました。

Xバンド・レーダーの電磁波の影響に関する 京都府参与会
参与会の意見（抜粋）

Xバンド・レーダーで使用するXバンド帯の電波の特性として、生体等へ及ぼす影響は熱作用に限定され、その強度は出力が影響するため、レーダー前面に立入禁止区域を設けることにより、安全性は担保されと考えられる。

また、サイドローブや発電機等から発生する電波・電磁界も含め、防衛省において国の安全基準以下となるよう調査・確認もされているとのことであり、これらについても生体等への影響は考えにくい。

したがって、国の安全基準に基づいて立入禁止区域などが設定されれば、電波が及ぼす影響については、特に問題が無い。

（詳細は府ホームページで公表：www.pref.kyoto.jp/soumucho/xbandrader.html）

※参与会…防衛省からのTPY-2レーダーの配備要請に関して、電磁波の影響等について専門的見地から意見を求めるため、京都府が参与として委嘱。



市議会議員全員協議会で説明を行う中山市長（市議会議場で）



委嘱を受けた自衛官募集相談員の皆さん（峰山総合福祉センターで）



自衛官募集相談員 (50音順・敬称略)



氏名	住所	氏名	住所
安達 健一	網野町網野	藤村 昇	峰山町荒山
岩崎 勝幸	網野町浅茂川	細川 克幸	久美浜町平田
田中 英一	網野町木津	松尾 信介	網野町掛津
坪倉 義美	弥栄町鳥取	松本 経一	大宮町周枳
花満 昌訓	丹後町中浜	松本 信之	峰山町久次
平田 祐志	弥栄町堤	森口 茂樹	丹後町間人

市民

自衛隊と地域との橋渡し役

自衛官募集相談員に12人を委嘱

自衛隊京都地方協力本部と市では、7月19日付けで「自衛官募集相談員」に12人を委嘱しました。任期は、平成27年7月18日までの2年間で、自衛官を目指す方へのアドバイス、広報活動などを行います。

この5カ月で論点は明確になってきており、その論点に対する検証の状況は、相応に熟してきたというふうに受け止めています。

漁業者の不安は払拭できたか

——毎日海（漁）に出ておられるわけですので、まず必要なのは科学的検証で本当に電波は大丈夫か検証してきました。さらに、周辺海域との比較や同じ海域に対して配置前と配置後でどういう変化があるかなどの調査を要望しています。実測をして有意な影響がある場合には停波も含めて適切な措置を取られるということですので、操業への影響はない前提で対処できると理解しています。

国益とは何か

——レーダーを配備することにより、国際情勢のさまざまな変化に伴って日本の抑止力、特に弾道ミサイルに対する抑止力を高めていく必要があるということ、そういった国益向上のため、レーダーを配備したいということだと理解しています。

住民説明会

（8月7日・宇川小で）地元区民ら約180人が参加した住民説明会で中山市長は冒頭、「安全・安心が確保されるのであれば、必要な協力するのは道理。地元として考えをまとめる時期だと判断しています」とあいさつ。その後、京都府と協議した、「Xバンド・レーダー」の配備計画の受け入れに際する確認（条件）について（案）の説明を行い、レーダー配備計画について、市の考え方について、参加者へ理解を求めました。



レーダー配備について市の考えを説明する中山市長（宇川小で）

説明会での質問や意見に対する本市の回答や考えを、抜粋してお知らせします。

安全・安心とは、どういうことか

——安全・安心の漠然としたものを分類・整理して、懸念しているものは何かを考え、その論点を確認してきました。電波は人体や環境、動物などに影響がないのか、施設ができて交通量が増えたり、水やいろんなものを使ったりする、こういった時に周辺の生活に影響がないのか、治安に問題はないのか、施設があることで攻撃を受けるのかなどの不安感を分類して、それに乗り越えられるかどうかという検討を加え

てきたのが、この5カ月だと思っています。不安材料は科学的な検証や今後の取り組みとして万全の対応が取れているかも含めて、防衛省が責任ある対応をしてくれるものとして確認してきました。

犯罪抑止の関係で、日米地位協定に問題はないのか

——地位協定上の課題があるということについては、断続的に米軍専用施設の置かれている地域の共通の課題ですので、連携しながら絶えざる改善を求めていくことだと思います。また、いろんな治安のリスクの課題については、治安に懸念のないよう米軍、国、府、市、関係者挙げて万全の措置を講じていきます。

結論を出すのが、早すぎないか

——短い時間ということですが、地元にとっても本当に大きな問題です。同時に国にとっても重要な問題です。おっしゃられるように慎重な議論は必要ですが、共に重要な問題であるからこそ、逆に論点が詰まってくれば速

やかに考えをまとめていくことも求められると思います。説明会等も何回も行い論点は出し切ってきたということ、考えをまとめる段階に至ったと判断してこの場に臨ませていただいています。

京丹後市に米軍基地が本当に必要か

——住民の皆さんの安全・安心は自治体にとって絶対欠かせません。他方で、そこが確保されるのなら同じこの国の一員としてできることはやっていくという姿勢が大切だと思います。

日本の地域と地域、いろんな分野、いろんなことで支え合い、助け合って、日本の発展が支えられています。国内に基地のある沖縄をはじめ13都道府県の皆さんも

いろんなお気持ちを抱かれています。ただ日本の安全安心のために負担をいただいているのであれば、負担を分かち合うという姿勢が大切だと思いますので、ぜひ理解をしていただきたいと思います。

総務課

☎69・0140

市職員政策力養成学校

人材育成

幸福のまちづくりを西川荒川区長に学ぶ

本市が取り組む市民総幸福のまちづくりについて、その先進モデルとする東京都荒川区。市では、職員の業務能力向上のために実施する政策力養成学校に西川太一郎区長を講師としてお招きし、8月8日、その実践内容などについて学びました。

今回の講演では、「荒川区民総幸福度と職員の育成について」と題し、これまで取り組まれてきた施策を事業成果や課題などを織り交ぜて紹介。市若手職員をはじめ幹部職員など71人がその実践方法などについて学びました。

西川区長は、「区政は区民を幸せにするシステム」と定義し、「なにを、だれに、どのように伝えるかがカギ。施策実施に当たっては、これを政策

化したら、区民は幸せだと思ってくださるか、これを行わなかったら、不幸だと感じるだろうか」という物差しで実践してきた」と熱弁。「住民を幸せにするという高い志を持ち、コンサルタントとして区民に接すること」など仕事の心構えなどについても触れ、市民から尊敬される職員を目指し、幸福のまちづくりを推進するよう話していました。



市職員に対して幸福に関する政策を紹介する西川区長（京丹後市役所で）

※市職員政策力養成学校

職員の業務能力向上を図るため、市外の自治体の首長や担当者から先進的な取り組みについて学ぶことを目的に、昨年11月開校。

財政

市民太陽光発電所事業特別会計を新設、予算が可決・成立

地域主体型太陽光発電事業スタート



「市民太陽光発電所（仮称）」を事業化・運営するため、京丹後市特別会計設置条例に「市民太陽光発電所事業特別会計」を加える一部改正と、本特別会計設置に伴い3億8千3百万円を総額とする平成25年度市民太陽光発電所事業特別会計予算が、7月19日開催の臨時議会で可決・成立しました。

市は、再生可能エネルギー事業の導入促進と再生可能エネルギーのさまざまな関連事業を普及・推進するため、大規模太陽光発電施設の整備事業費などを予算計上。これにより、再生可能エネルギー電力の固定価格買取制度を利用した発電・売電事業および管理事業を始めます。

再生可能エネルギー事業には、自然から定常的に補充される日射や風を資源とするため、枯渇性資源と比較して設備利用率が低い特徴があるほか、本市には国内平均を下回る日照時間など事業上の不利性が存在します。その不利性を補い得る実証事業の創出、政策的運用基盤の構築を、市

環境

生ごみの資源化と排出抑制を推進

「市生ごみ資源化・ゼロエミッション検討委」設置

本市における生ごみの減量と全量資源化による循環型社会環境の整備を促進するため



ごみの減量化について意見交換が行われた委員会（峰山庁舎で）

7月29日、「京丹後市生ごみ資源化・ゼロエミッション※推進検討委員会」が京丹後市役所で開催されました。

この委員会では、一般家庭や飲食店、小売店から出る生ごみを対象として、ごみの減量化および資源化に向け、モデル事業から得た課題などを整理しながら、具体的推進に向けた検討を行います。

識者などで構成。委員長は、福井利通さん（市区長連絡協議会幹事）、副委員長は、岡田佐代子さん（市生ごみ資源化モデル事業参加者代表）が選任されました。

※ゼロエミッションとは、廃棄物を出さないこと。ある企業・産業で排出される廃棄物を別の企業・産業の原料として使うなどして、トータルで廃棄物をゼロにしようというものです。

社会的および政策的な動きとし、地域社会や地域産業、環境教育など各分野の活性化と新たな民間活力の創出を目指し、地域の持続可能性を高める事業を広く推進します。

地域の自然を地域のエネルギーへ、施策展開を支える基金の設置も念頭に検討し、本施設を地域や住民をエネルギーの消費者から担い手へと導く原動力として位置づけ、事業を展開していきます。

図環境バイオマス推進課
☎69・0480

農政

「丹後農業実践型学舎」入舎式

1期生10人が就農へ決意表明

丹後地域における次世代の農業経営者を育成する「丹後農業実践型学舎」の入舎式が7月24日、府丹後農業研究所で行われ、第1期生の研修生10人が就農への決意を述べました。



入舎式には、市内をはじめ、京都市、大山崎町、静岡県沼津市などから研修生10人（21～45歳）が参加。それぞれが農業や就農への思いを述べた。

した。研修生の谷口真さん（峰山町）は、「農業の経験はほとんどないが、知識を蓄えて農業に生かしたい」と抱負を語り、激励に訪れた中山市長は、「丹後の農業には、質の高さ、多様性など豊かに満ちている。夢と希望を持ち可能性を確信

した。研修生の谷口真さん（峰山町）は、「農業の経験はほとんどないが、知識を蓄えて農業に生かしたい」と抱負を語り、激励に訪れた中山市長は、「丹後の農業には、質の高さ、多様性など豊かに満ちている。夢と希望を持ち可能性を確信



弥栄町の国営鴨谷団地で農業を実践する研修生たち

して、丹後の農業を牽引してほしい」とあいさつを行いました。

丹後農業実践型学舎は、本市の丹後国営開発農地で、京野菜の大規模生産に挑戦する若手営農者の育成を目指し、実施するものです。

今後、研修生は割り当てられた約2畝の農地を活用し、府職員による技術指導を受けながら2年間、九条ねぎや聖護院だいこんなどの京野菜やにんじん、加工野菜の大規模生産、いちごやトマトなどの施設園芸、環境に配慮した施肥と土づくり、丹後の農産物を使った加工技術、農業経営などについて学びます。

市では、研修生の住まいの紹介などの生活支援や国営開発農地の確保を行います。

行政運営

市役所業務の改善・職員能力の向上へ

公務品質向上推進委を新設

市役所業務の改善や職員の職務遂行能力の向上を図るため、新たに公務品質向上推進

専門委員を新設。専門委員として、藤井美枝子さんを委嘱しました。

職員の時間外勤務の削減、事務処理ミスの防止、来庁者や電話での接遇マナーの向上など、民間の視点で別の角度から更なる公務能率の改善を図ります。任期は、平成26年3月31日までです。



藤井 美枝子さん
（峰山町織元）

文化

地域に新しい文化の風を

仕掛人丸山桂さんが始動

文化の仕掛人は、府丹後文化会館を拠点として、地域住



丸山 桂さん

民とのワークショップを通じて本市のさまざまな文化資源の掘り起こしなどを行い、市民の皆さんとともに文化のまちづくりを進めます。府との共同事業で、任期は平成26年3月31日までです。

図府丹後文化会館
☎62・5200



まちのわだい

★town topics★



網野町の網野神社で7月24日、同神社の境内社、愛宕神社の例祭が行われ、約半世紀ぶりに火祭りが復活。氏子らが、「マンドリ」と呼ばれる丸く編んだ麦わらの束に火をつけて振り回し、地域の防災を祈願しました。

網野神社裏の丘の上にある愛宕神社は、火産靈神と呼ばれる火の神が祭神。8年前に網野神社の宮司となった西川康一さんは、氏子らとの話の中で火祭りを知り、「神社の活性化につながれば」と復活を決意。当時の火祭りを経験した氏子らに聞くなどして、試行錯誤を重ねて本番に臨みました。

当日は、地元の青年部員らによるオヤジバンドの演奏や網野太鼓などの奉納行事が行われた後、いよいよ火祭りへ。氏子らがマンドリに火を付けて勢いよく振り回し火の粉を散らすと、集まった大勢の参拝者から歓声が上がりました。この神事を受け継いでもらうため、地域の中学生たちも綱を手に力いっぱい振り回しました。

西川宮司は「火に感謝し、火を恐れる心構えを学ぶのが目的。これからは毎年開催していきたい」と話していました。



▲麦わらを束ねた「マンドリ」に火を付けて、力いっぱい振り回す参加者

網野神社で半世紀ぶりに火祭りが復活

7月24日 網野町

小天橋すいすいカーニバルに3,000人

2,000 発の花火が来場者を魅了

8月7日

久美浜町

久美浜町的小天橋海水浴場駐車場で8月7日、小天橋夏祭り「すいすいビーチナイトカーニバル」(小天橋観光協会・湊宮区主催)が開かれ、地元住民や観光客など約3,000人でにぎわいました。

会場に設置されたステージでは、久美浜児童合唱団による合唱や久美の浜太鼓保存会の高龍太鼓が披露されたほか、宝探しやビンゴゲームなど多数の催しが行われ、多くの来場者が楽しんでいました。

フィナーレでは、約2,000発の花火が打ち上げられ、夜空に咲く大輪に多くの来場者が魅了されていました。



▶会場近くの砂浜から打ち上げられた花火

あゆみが丘学園納涼祭に500人

来場者ら利用者ととも夏夜を楽しむ

8月2日

大宮町

大宮町延利のあゆみが丘学園ねむの木寮で8月2日、恒例の納涼祭(同学園主催)が催され、模擬店や輪投げ、ステージショーなど施設利用者やその家族、周辺地域の住民ら約500人が、ひとときの夏の夜を過ごしました。

ステージでは、3つのグループが優雅なフラダンスや子どもたちの元気なチアダンス、スピード感あふれるロックダンスが披露され、イベントを盛り上げました。

同祭を主催する藤村施設長は、「この祭は、施設利用者のことを地域の皆さんに知ってもらうと同時に、日々の作業に対するねぎらいの意味もある。予想を上回る大勢の方に来場いただきありがたい」と話していました。

このほか、施設利用者が育てたかぶと虫や花火が当たるビンゴゲームが行われ、会場内は終始にぎわっていました。



▲ステージ上のロックダンスを鑑賞する来場者たち

受講生がギター演奏を披露

弥栄地域公民館主催のギター教室に17人

8月8日

弥栄町



▲丁寧に指の動きを確認しながら練習する受講生たち

ギターに親しみを持ってもらうことなどを目的に、6月から全6回で開かれていたギター入門講座(弥栄地域公民館主催)の最終回が8月8日、弥栄地域公民館で開かれ、受講生が日頃の練習の成果を発表しました。

受講生は20～60歳代までの男女17人で、講師はギター奏者の山崎昭典さん(網野町)。発表会では、各人が教室や自宅で練習してきた「上を向いて歩こう」や「大きな古時計」のほか、洋楽ソングなどを披露。最後に全員の課題曲「四季の歌」と「ポルカ」を合奏して締めくくりました。

受講生の隅野和幸さんは「初めは指が動かなかったが、最後は曲を奏でることができるようになった。これからも続けていきたい」と演奏の喜びを話していました。

フェスタ「飛天」に1万人

京丹後出身ロックバンドが凱旋ライブ

8月4日

峰山町



ライブ「アンチェイン」によるスペシャル

京丹後に伝わる「羽衣伝説」や「七夕伝説」を題材にした恒例イベント、フェスタ「飛天」2013in京丹後(同実行委員会主催)が8月4日、市役所前駐車場で行われ、約1万人が踊りや音楽ライブなどを楽しみました。

ステージでは、京丹後出身の4人組ロックバンド「UNCHAIN(アンチェイン)」が2年ぶりに凱旋。メジャーデビュー曲などを披露し、軽快な音を響かせると、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。

このほか、丹後小町踊り子隊や地元のよさこいグループなどが、息の合った踊りを披露し、会場は終始にぎわっていました。

竹野神社で1300年記念祭

丹後8つの神社神職が企画

7月27日

丹後町

竹野神社(丹後町)で7月27日、丹後建国1300年記念祭が催され、市内外から約200人が参列しました。同祭は、「建国1300年を機に丹後の伝統文化を再認識し、ふるさとの魅力をこの先幾世代へも繋げていくこと」が目的。本市、舞鶴市、宮津市、与謝野町にある8つの神社の若手神職たちが斎行委員会を立ち上げ、企画したものです。

祭礼では、大宮賣神社(大宮町)の氏子が雅楽を奏で、出雲大社 厳分祠(与謝野町)の巫女が浦安舞、豊栄舞を奉納。各神社の氏子たちが見守る中、平和や自然への感謝を込めた舞を披露しました。

斎主を務めた竹野神社の櫻井祐策禰宜は、「楽を奏でて舞を舞う、この祭を通じて建国1300年の歴史深い丹後を皆さんに知ってほしい」とあいさつ。参列した女性は「古い社によく合った荘厳な式典でした。歴史ある丹後に生きていることは、地元住民として誇らしいことです」と話していました。



▲平和や自然への感謝を込めた舞を舞う巫女

京丹後に思う Vol.11



▲主人の伸夫さん(右)と一緒にペンションを営んでいるニーランヌットさん

私は海のないところで育ったので、海の魚を食べるという習慣がありませんでした。また、タイのカニはとても、タイのレストランで働いていたとき、旅行に来ていた主人と出会い、10年前に結婚して京丹後市にきました。現在は丹後町で、主人と一緒にペンションを経営しています。

京丹後でタイ人の友達がいなくて、少しさみしいですが、市内のタイ人や外国人と友達になって市内の観光スポットを巡りたいと思っています。車移動ができないので困っていましたが、最近200円バスに乗って気軽に市内の移動ができるので助かっています。

ペンションには、中国や韓国、アメリカなど、さまざまな国のお客が訪れます。たまにタイ人のお客さんも来てくれます。もっと外国人に来てもらうため、さまざまな国の文化を学んだり、少しでも多くの言語を勉強したりして、安心して宿泊できるペンションを目指したいと思っています。



藤原ニーランヌットさん (28)
丹後町間人住

在住外国籍市民の皆さんから投稿いただいた京丹後市への想いをシリーズでお届けします。

小さいですが、京丹後のカニを見たとき、あまりの大きさに驚きました。でも、食べているうちにおいしさが分かるようになり、今では魚もカニも大好きです。

京丹後の果物も好きですが、ふるさとの味が恋しくなり、自宅の庭にバナナの木を植えました。小さいバナナが実るようになりましたが、やはりタイのような暖かい気温の日が少ないので、なかなかおいしくできません。でも、いつかタイの味を再現して、ペンションに来てくれた皆さんに提供したいと思っています。

山陰海岸国立公園関係功労者特別功労者表彰



坂口 正さん (67)
(網野町下岡)

山陰海岸国立公園の京都府側において、山野草の観察会やネイチャーガイドの養成講座、クリーン活動などを実施。自然環境の保全と活用に尽力し、その功績が評価されました。



富川 淳志さん (79)
(久美浜町湊宮)

山陰海岸国立公園の京都府側において、公園内パトロールや植生保護活動、自然観察会などを実施。自然景観や動植物の保護に係る普及啓発に尽力し、その功績が評価されました。



故 上田 安次さん (82)
(網野町島津)

【元網野町議会議員】

昭和49年5月から平成2年までの連続4期にわたり、網野町議会議員として活躍。議会議長や建設常任委員会委員長を務め、町行政の発展に大きく貢献。長年の功績が評価されました。

「道路ふれあい月間」国土交通大臣表彰



街路樹を清掃する浅茂川浦島会の皆さん
(KTR 網野駅前道路)

平成19年から、府道浅茂川下岡線において、20～30人のボランティアが年6回、草取りやごみ拾いなどを実施。道路の美観・美化に尽力し、その功績が評価されました。

会員数：145人 (谷岡 俊会長)

浅茂川浦島会
(網野町浅茂川)

みんなの声

ご意見箱から

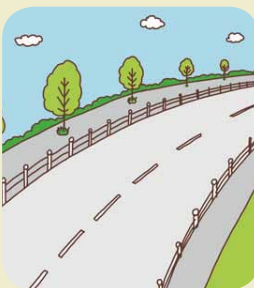
府道網野岩滝線の弥栄町外村バイパスを早期に実現してください

▼府道網野岩滝線の弥栄町外村バイパスを早期に実現してください。困難な問題もあるようですが、生活道路としての道を使用する地元民の一人として切に願っています。

【住所未記入・60代・男性】

地域と連携し、早期実現に向けて京都府へ要望します

▼網野岩滝線は、本市の網野町を起点に弥栄町および大宮町を経て与謝野町岩滝に至る府道です。本市内を広域的に横断する基幹道路ですが、交通量と比較して道路幅員が狭く、交通安全面においても危険



かぶと山小学校旧体育館の跡地はどのように利用されるのですか

▼かぶと山小学校の旧体育館について、今回取り壊しの予算がついたみたいですが、跡地はどうなるのでしょうか？

【住所未記入・60代・男性】

▼かぶと山小学校旧体育館取り壊し後の跡地につきましては、来校者の便宜を図るため、駐車場として整備することとしておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【教育総務課】

広報クイズの応募はがきから

▼広報きょうたんこの表紙「きょうたんごでいいね」は京丹後が再発見できていいですね！我が浜詰の夕日ヶ浦に落ちる夕日が素敵です。ぜひ、機会があれば掲載してください。まっ赤な夕日が入るさまは感動ものです。

【網野町・60代・女性】

▼きょうたんこの表紙とても素晴らしいですね。都会の方に京丹後をアピールしましょう。

【大宮町・70代・女性】

▼夏休み特別企画、とても良い企画だと思います。親子でなくても地域のひとと一緒に楽しんでもいいですね。

【峰山町・60代・女性】

険性があることから、順次拡幅改良が行われています。そうした中、平成18年に弥栄町内の等楽寺バイパス、平成24年には鳥取木橋バイパスが開通し、現在工事中の大宮町久住バイパスも、1～2年の内には完成予定と京都府から聞いています。外村バイパスについては、府に要望を行う前段階として、地元協議や地区内での話し合いを進めています。

市としても、今後、京都縦貫自動車道の全線開通や山陰近畿自動車道野田川大宮道路の完成により、さらに網野岩滝線の交通量が増えることが予想されますので、地域と連携し、事業の早期実施に向けて京都府へ要望していきます。

【管理課】

▼《夏休み特別企画より》ダンボールアート、アミティ丹後で一度見せていただきましたが、とても精巧に作られており感動しました。一人でも多くの人に見ていただきたいと思いました。

【網野町・60代・女性】

▼《夏休み特別企画より》このコーナーの中でも、ダンボールアート!!すごいですね。バイクなんかタイヤのボコボコを細かく作ってあったり、エンジンのとこなど、一度、実物を見てみたいですね。感動です...

【大宮町・40代・女性】

▼夏休み特別企画を見て、TV番組「ビフォーアフター」でだいまる醤油さんの大改造の様子も観ました。ランチも人気があるとのこと、一度行ってみたいです。

【大宮町・60代・男性】

▼市内の「社会見学・体験特集」これは地元を再発見で、お父さん・お母さん・子どもさんみんなで楽しい夏休みを過ごされたことでしょうか。子どものいない大人だけでも楽しめる企画でした。

【網野町・70代・男性】



生まれてくれて有難う
名前通り育ってくれたらなあ
素直な顔と笑顔が大切にネ。

まつた なおみ (女の子)
7月生まれ・2,628g
母: 亜希子さん 父: 智行さん
(丹後町袖志)



元気な顔を見せてくれてありがとう
これから成長を一緒に見守ります

うえの しょうへい (男の子)
7月生まれ・3,320g
母: 早苗さん 父: 晋司さん
(峰山町長岡)



無事産まれてきてくれて
ありがとう!! 大好き!!

ながた そう (男の子)
7月生まれ・3,122g
母: 真理子さん 父: 翔太さん
(大阪府摂津市/実家: 丹後町鞍内)



無事にうまれてきてくれて、ありがとう。
元気いはい。大きく育ってね。

あさだ はると (男の子)
7月生まれ・2,908g
母: 美紀子さん 父: 直樹さん
(舞鶴市/実家: 網野町浅茂川)

A bond of life

いのち 命の絆

生まれてきてくれてありがとう

このコーナーでは、弥栄病院で赤ちゃん誕生の瞬間を喜びご家族の姿を紹介します。ご応募いただいた全ての方を掲載しています。どしどしご応募ください。

詳しくは秘書広報広聴課「生命の絆」係まで ☎ 69-0110



▲選手にアドバイスを受けながら、内野の守備練習を行う子どもたち

日本新薬野球教室に110人 峰山出身の田中選手ら熱血指導

社会人野球の名門、日本新薬硬式野球部の選手による野球教室（ウエスタンリーグ等開催実行委員会主催）が8月3日、峰山球場（峰山町）で開かれました。市内14の少年野球チーム110人の児童が参加し、打撃や守備の基礎を学びました。

まず児童たちは、選手の打撃、守備練習を見学。打球の飛距離や華麗な守備に歓声を上げていました。

ポジション別に行われた練習では、峰山町出身で、高校時代遊撃手として甲子園に出場した経験を持つ田中一八選手が内野手の班を指導。児童たちは、捕球するときの腰の高さなどを教わっていました。

田中選手は「野球を純粋に楽しむことが大切。野球を好きになって、ずっと続けてもらいたい。1人でも多く社会人やプロに行って活躍してほしい」と話していました。



▲捕球の姿勢を指導する田中選手(左)



▲得意のタックルで相手選手を攻め込む由良君(左)

由良琉二君 (網野町少年レスリング教室) 全国少年少女レスリング選手権 優勝

第30回全国少年少女レスリング選手権大会が、7月27、28日の両日、北海道札幌市の道立総合体育センターで開催され、網野町少年レスリング教室所属の由良琉二君（吉野小5年）が34級に出場。同教室で13年ぶりとなる全国優勝を果たしました。「いつもより緊張しま

した」と話す由良君。1回戦から全国の強豪相手に苦戦を強いられながらも、得意技のタックルでリズムを掴み、勝ち進みました。決勝戦の相手は、春の全国大会の優勝者を破って勝ち上がった千葉の小川選手。激闘の末、見事勝利し金メダルを獲得しました。

由良君は「網野チームのキャプテンとして負けられないと思いました。応援してくれたみんなに感謝しています」と話していました。8月15日、中山市長に優勝を報告した由良君は「来年の3つの全国大会でも優勝を目指します」とさらなる飛躍を誓いました。

水しぶき上げ、100チームが“力漕” ドラゴンカヌー選手権大会

「丹後建国1300年記念 千日会観光祭2013京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会」（同実行委員会主催）が4日、久美浜湾で開催されました。24回目となる今回は、市内のほか近畿一円から男子87、女子13の計100チーム約千人が参加し、熱戦を繰り広げました。コースは300mの直線。ドラの音に合わせて一斉にスタートした各クルーは、豪快に水しぶきを上げながら、一丸となってゴールを目指していました。優勝チームは次のとおり。

【男子の部】
G.S.D（兵庫県相生市）

【女子の部】
ARION（兵庫県加古川市）



▲太鼓の音に合わせて、懸命にパドルを漕ぐ参加者たち

京丹後市スポーツ広報紙

『京たんどスポーツ』

9月25日 創刊

スポーツ関連情報に特化したタブロイド版広報紙「京たんどスポーツ」を9月25日から隔月で発行します。

市内で実施されるスポーツイベントの情報や幅広い世代の活躍ぶり、各種スポーツ教室の案内などに加え、観光スポットの紹介など、盛りだくさんの内容でお届けします。

パワーアップして生まれ変わる「たんすぽ」にご期待ください!! (スポーツ観光・交流課)

京丹後出身の2人が世界大会へ

世界選手権の代表選手選考を兼ねた、レスリング日本選抜選手権大会が6月、東京の代々木第二体育館で行われ、本市出身の2人が世界大会出場を決めました。

74kg級に出場した高谷惣亮選手（ALSO）が、ロンドン五輪代表の貫禄を示し見事優勝。84kg級に出場した松本真也選手（警視庁）は準決勝で敗れたものの、プレーオフで勝利し、世界への切符を手に入れました。

世界選手権大会は9月16～22日、ハンガリーのブダペストで開催されます。

レスリング フリースタイル
高谷惣亮 選手 (74kg級)
松本真也 選手 (84kg級)

図書館だより

今月のおすすめ

■月の満ちかけ絵本



大枝 史郎／文 佐藤 みき／絵
あすなろ書房

新月・二日月…上弦の月・十三夜・満月・十六夜・立待月…明けの三日月、月の名前と満ちかけについて、教えてください。
今夜は、夜空の月を眺めてみませんか。

9月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4



小林 凜／著
ブックマン社

■ランドセル俳人の五・七・五



壮絶ないじめを受け、学校に行かないことを選んだ少年の、俳句と巡り合い、俳句を詠むことで支えられている日々が綴られています。五・七・五に込められた彼の心、優しさ、孤独を聞いてください。

★ 図書館の使い方を楽しく学ぶ

あみの図書館

あみの図書館で7月25日、図書館に親しんでもらおうと市内小学生を対象に「調べるナビ」を開催しました。



参加した8人の子どもたちは、本の探し方や百科事典の引き方を学んだ後、出題されたクイズを自分で調べたり、目的の本を探したりして、図書館の使い方を楽しく学んでいました。

◀百科事典を使い出題された問題について調べる子どもたち

おわびと訂正

8月号12ページの「丹後の自然が育んだ『海の魅力』を体感」の記事で、久美浜小学校6年の金木隆昌くんとなっていました。正しくはかぶと山小学校です。おわびして訂正します。



▲あみの図書館のカウンターで、本の貸し出し、返却作業を体験する児童

★ 小学校児童が半日図書館員体験

あみの図書館、丹後・久美浜図書室で8月、「半日図書館員体験」を実施しました。市内の小学4年～6年の児童18人が参加し、カウンターで本の貸し出しや返却の処理をしたり、返された本を棚に戻したりして、図書館の仕事を学びました。

参加した児童からは、「もっとお客さんと話したかった」「大きくなったら図書館で仕事をしたい」などといった感想が寄せられました。

京都府丹後文化会館 インフォメーション

たてのいずみ
館野 泉

9/25 (水)

ピアノリサイタル 開演 19:00 (開場 18:30)

◎ 京都府丹後文化会館 (峰山町杉谷)
◎ 一般…3,000円 高校生以下…1,500円
《全席指定》※当日各 500円高

前売券
発売中

◎ 京都府丹後文化会館 ☎ 62-5200

主催: 京丹後市／(公財) 京都府丹後文化事業団



市職員人事異動

新規採用 [8月1日付]

久美浜病院《診療部外科》
医師 荒谷 憲一

異動 ※カッコ内は前所属

[8月1日付]
久美浜病院 (久美浜訪問看護ステーション)
看護師 久瀬川 由美子
(久美浜病院看護部 看護師)
[8月16日付]
上下水道部 水道整備課
主任技師 後藤 哲
(企画総務部人事課 主任技師)

退職 [7月31日付]

久美浜病院《診療部外科》
医師 工藤 道弘

あたり こうすけ
中 孝介 全国コンサートツアー 2013 **9/10(火)** 開演 19:00 (開場 18:30)
『もっと日本。』 全席 3,500円 ※当日 500円高《全席指定》
◎ 京都府丹後文化会館 (峰山町杉谷) ※未就学児の入場はご遠慮ください



大学生パワーを地域の力に！

記録的な暑さの夏でしたが、皆さん、夏の思い出はできましたか？夏祭りに花火大会…振り返れば夢のような楽しい毎日でしたね。

さて、夢と言えば今、京丹後は夢のようなまち、夢があるまちを創り始めたところなんです！これにはこの方たちの力が必要、そう大学生の皆さんです。京丹後市に大学はありませんが、関西・関東にある5つの大学の学生が教育活動の一環として各地域に入り課題解決に取り組む、「『域学連携』夢まち創り実行委員会」が設立されました。地域と連携すること、大学生が自ら発想し取り組むことなどがポイントです。

その中で大阪にある相愛大学は、音楽マネジメント学科の学生が授業のノウハウを生かし、担当地域の久美浜町で8月12日、音楽コンサー

トを行いました。企画運営の経験はあるとのこと。でも短い準備期間、知らない土地、ましてや田舎…。

そこで私が見たのは大学生のたくましさ頼もしさです！会場の稲葉本家の中庭を埋め尽くすほどのお客さんを集め、楽しませるというすべをちゃんと知っているんです。今までに京丹後で見たことのない力に新鮮さを感じました。今回相愛大学は「久美浜を音楽で盛り上げたい」という思いでコンサートを企画されました。「文化・芸術の振興＝夢まち創り」を教えてくれたように思いま

市政情報番組 FM たんご FM79.4 聴

●京丹後市からのお知らせ
月～金 7:53～7:58、13:00～13:05、16:54～16:59

Check

広報クイズ



今月号の記事の中からクイズを出題します。全問正解者の中から抽選で5人に図書カード500円分をプレゼント！

問1 今月号の特集は丹後建国〇〇〇〇年

問2 〇〇国際交流プロジェクトin 京丹後を開催

問3 網野神社で半世紀ぶりに“〇〇〇”が復活

◆応募方法

はがきに ①クイズの答え (〇の中に入る数字や文字) ②住所 ③氏名 (ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報紙の感想やイラスト、取り上げてほしいテーマなどをご記入の上、秘書広報広聴課まで (宛先は裏表紙を参照)。なお、お寄せいただいた感想やイラストは広報紙に掲載することがあります。※⑥の項目も忘れずにご記入ください。

◆応募締切

9月16日 (月) 当日消印有効。当選者の発表は10月号のこのコーナーで。

◆8月号の答え

問1…2500 問2…アユ 問3…フッ素

◆8月号当選者

大津山麻衣子さん (大宮町)、松本美佐子さん (峰山町)、大谷一三さん (弥栄町)、鴨田久夫さん (大宮町)、大谷早美さん (久美浜町)
応募総数20人、全員正解でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

宮川優のたんご優遊見聞録



■宮川 優 (みやがわ ゆう)

京丹後コミュニティ放送・局長。FM たんごメインパーソナリティー。朝の情報番組「たんごモーニング・サンド!」(7:00～8:58)を担当。年間を通してイベントMCや各ナレーションにも多数出演

す。大成功のコンサートに学生はもちろん、協力した地域の皆さんも満足の笑顔でした。

今後その他の大学も各町の地域と連携し活動を行います。その様子はFM たんごで学生自ら届けてくれますよ。大学生の秘めたパワーをぜひ期待しててください！

京丹後での「域学連携」が地域にとっても学生にとっても忘れられない人生の思い出になりますように…であれば、この活動は「生学連携」でもありますね！(^^)

Kia 京丹後市国際交流協会

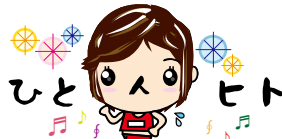


▶ごみ収集カレンダーを見ながら、ごみの分別に挑戦する参加者たち

日本語教室でごみの分別に挑戦

市内在住の外国人を対象とした「情報収集・活用のための日本語教室」を、7月26日から4回にわたり、峰山総合福祉センターで実施しました。フィリピン、中国、タイ出身の延べ56人が参加し、日本語ボランティアを講師に、日本語を学びました。
7月30日の教室では、ごみ収集カレンダーをテキストに、ごみの分別に挑戦。参加者同士相談しながら、真剣に取り組んでいました。また、防災無線から流れる緊急地震速報などの情報を聞き取る練習も行いました。

9月の教室では、茶道や着付けなど、日本文化について学ぶ予定です。



ひと さん ヒト

若者・よき者・ばか者がまちをかえる



ひと さん ヒト

若さあふれるひと・地域よさを発見してくれる人・ひとつのことに夢中に打ち込むひと



kyotangojin

「かぶとやま工房」

久美浜町

京丹後人

41



イメージキャラクター
かぶとやまくん

余っている果物で

神野の特産品を

久美浜町神野地区で、食べきれず余っている果物などを使って商品開発に挑戦する加工グループがいる。アイデアを持ち寄り、試行錯誤を繰り返しながら、メロンの粕漬、柿を使った万能ドレッシングの2品を商品化した。

今回は、主婦ならではの発想と知恵を生かし、新たな商品作りで地域を支えたいと頑張る「かぶとやま工房」を紹介する。

◆ ◆ ◆
メンバーは7人で年齢層は40～70代。料理教室の講師や主婦たちで構成される女性中心のグループだ。

平成23年3月、同地区のまちづくり計画が策定され、神野地区で収穫される果物や野菜などを使った加工品で地域振興を図ろうと、自治会が有志を募集。これに応募した現メンバーにより、翌年9月、「かぶとやま工房」が誕生した。メンバーの廣田朝子さん(69)は「神野は果物がおいしいところ。魅力のある特産品を作って神野の食材をPRしていきたい」と意気込む。

手始めに、梨でゼリーを試作。しかし、大量の梨が必要となることやゼリーの分量などを調整しているうちにシーズンが終わり失敗。紫芋の羊かんも試作したが、商品化には至らなかった。

次に女性たちは、たくさん実るが使い道が少なく、いつも余ってしまう「柿」に注目。雑誌などで調べてアイデアを持ち寄り、「柿は肉に合うらしい」という情報を元に、肉料理に使うタレを考案。さっそく地元の家庭や農家に掛け合い、熟した柿を集めて回った。柿の種や皮などを手作業で取り除き、野菜や調味料と合わせて味を調整。試行錯誤を重ねて、ようやく柿のタレが完成した。

商品の名前は「かけてみなはれ柿のたれ」。口当たりが良いため、肉だけでなくさまざまな食材に合う万能ドレッシングだ。「ノンオイルで甘めの味付けなので子どもにもオススメです」と中西基代さん(67)。「柿の自然な旨みが出せました」と他のメンバーも満足気だ。商品のパッケージには、工房のイメージキャラクター「かぶとやまくん」を採用。誰もが親しめる商品となるよう願いを込めて廣田さんが作成した。

今年6月、道の駅サンカイカンで行った販売会では、メロンの粕漬けとともに柿のたれを出品。試食を勧めると好評で、すぐに完売した。「たくさんファンが待っていると思うと、きつい仕込み作業も頑張れます」と笑顔で話すメンバーたち。今年仕込んだメロンの粕漬けや、柿のたれはすでに予約が入っているという。

代表の松本義雄さん(64)は「加工施設の設置も検討している。もっと商品を増やして自立した団体になりたい。最終的にはリタイアした区民の雇用の場になれば」と展望を語る。「みんなの幸せを願って商品づくりをしている。次は地元食材を使ったヘルシー弁当を作って、独居老人の方を幸せにしたい」と最年少の木下いずみさん(43)も意欲的だ。

グループの挑戦はまだまだ終わらない――

つぶやき

▼夏休みも終盤、子どもたちは2学期の準備を始めた頃でしょうか▼今月号では、ペルセウス座流星群の撮影に挑戦。撮影方法などを調べて臨みましたが、あのはかない一瞬の光を写真に収めるのは難しかったです▼でも、夜空一面を明るく照らし、満月のような光を放つ流星を見ることができました。流れた後もくっきりと光跡が…あまりの大きさに、願ひ事をするのも忘れてはいけません(苦笑)▼普段は意識していませんでしたが、改めて京丹後のきれいな星空に感動しました。暑さで騒がしい夜は、じっくり星空を眺めてみるのもいいですね▼人生には重要な場面がたくさんあります。ここぞというときにまぶしいほどの「光」を放ち、輝ける人間になれるよう日々努力していきます!!/光

人口・世帯数

男	28,626人 (-13)
女	30,828人 (0)
計	59,454人 (-13)
世帯数	22,599世帯(+23)
7月31日現在、カッコ内は前月比。	
住民基本台帳(外国人含む)による。	

熱中症に注意!! こまめに水分補給をしましょう

